

## ヨハネ 1章 1-5

1、この箇所を自分の言葉で要約してみましょう。

2、ここで神様はどのようなお方だとわかりますか？〈父、子、聖霊〉

(1-3)

(4)

3、ヨハネについて

・ヨハネは何の仕事をしている人でしたか？

・ヨハネは後年「愛の使徒」と呼ばれる人でしたが、イエス様が彼につけた名前（あだ名）は何でしたか？

(マルコ 3:17)

・「雷の子」から想像する彼の性格を語り合ってみましょう。

・「雷の子」から「愛の使徒」と変えられたことについて語り合ってみましょう。

※彼は、「イエスの愛しておられた弟子」(13:23,19:26,20:3,21:7,20)と呼ばれ、ヨハネの手紙では、愛し合うことについてたくさん語っています。それで後年「愛の使徒」と呼ばれるようになったのです。

4、ことばなる神

・この「ことば」とは誰のことを指していますか？ (14、18)

・聖書は天地創造の業は誰によってなされたと教えられていますか？ (3) (コロサイ 1:16)

・イエス・キリストとは何者だと聖書は教えていると言えますか？

・この「ことば」は原語では「**ロゴス**」これは言葉とともに他にどう訳せると言われていましたか？

※辞書で調べてみましょう。

そのことを覚えつつ、エレミヤ 51:15を読んでみましょう。

5、光である神

・(4) この方にいのちがあった。このいのちとは何のことでしょう。(Iヨハネ 5:10-13)

・「このいのちは人の光であった」…どんな光でしょう。

・自分の内に「闇」がないか探り、イエスにより、打ち破っていただきましょう。